

# 感染症情報 12月25日～1月7日

12月25日から12月31日分

府下小児科200医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1063例(堺市	60例)
②溶連菌感染症	301例(堺市	23例)
③RSウイルス感染症	205例(堺市	8例)
④みずぼうそう	85例(堺市	5例)
⑤手足口病	54例(堺市	0例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 3283例(堺市 325例)

1月1日から1月7日分

府下小児科198医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	579例(堺市	36例)
②RSウイルス感染症	185例(堺市	6例)
③溶連菌感染症	157例(堺市	10例)
④みずぼうそう	86例(堺市	3例)
⑤咽頭結膜熱	34例(堺市	2例)

府下インフルエンザ定点305医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 3873例(堺市 281例)

が報告された。年末年始で報告定点の診療実日数が少なく、通常週との比較はできない。

感染症報告数は12月25日から31日までがその前週より33%減の1,872件で、1月1日から7日までがさらに40%減の1,131件であった。

インフルエンザは府下では12月25日から31日までがその前週より12%増の3,283例が報告され(堺市では196→325例の66%増)、1月1日から7日までがさらに18%増の3,873例になった(堺市で325→281例、14%減)。1月1日から7日の定点あたりの報告数が12.7となった。今後急増が予想される。

麻疹、風疹の報告はなかった。